

教科名	地歴	単位数	2単位	担当者	小野 辰朗
科目名	世界史探究	学年・学級	2年次選択		
使用教科書 副教材等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・詳説世界史（山川出版）</li> <li>・資料集：ニューステージ世界史詳覧（浜島書店）</li> <li>・ウィニングコンパス（とうほう） ・世界史10分間テスト（山川出版）</li> </ul>				
1 学習の到達目標（何ができるようになるのか）					
<p>世界の歴史の大きな枠組みと流れを我が国の歴史と関連付けながら理解し、文化の多様性と現代社会の特質を広い視野から考察することによって、歴史的思考力を養い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界の歴史を各地域・時代毎に探究・理解し、歴史的思考力を身に付けることができる。</li> <li>・世界の歴史を「要因・経過・結果・影響」それぞれに考察し、まとめることができる。</li> <li>・歴史を科学的に分析する力を身に付け、広い視野から物事を考察し、俯瞰的に未来を創造することができる。</li> </ul>					
2 学習の評価（評価基準と評価方法）					
観点	a, 関心・意欲・態度	b, 思考・判断・表現	c, 資料活用の技能	d, 知識・理解	
観 点 の 趣 旨	学習活動を通じ世界の諸地域の歴史過程や文化、その交流に関心を持ち、学習活動に自ら積極的に学ぶ姿勢を養う。	世界の諸地域特有な民族・風土・文化を自ら考察し理解を深め、継続する歴史過程を適切に洞察する能力を身に付ける。	教科書や諸資料から適切な情報を読み取り、年表・地図の作成や参考書への記述、授業での発言で理解を深めることができる。	各地域の歴史（縦軸）とその伝播・交流（横軸）の交差として捉え、すべての要素により世界史が成立していることを理解する。	
主 た る 評 価 方 法	行動の観察 授業プリント作成 生徒の自己計画作成 課題等提出 <b>(10%)</b>	行動の観察 <b>定期考査(30%)</b> 単元振り返り 生徒の自己計画到達度 生徒の自己評価	模試や大学入試の過去問 研究 単元振り返り記述の内容 <b>定期考査(10%)</b>	定期考査 確認テスト/小テスト 生徒の自己評価 <b>定期考査(40%)</b>	
3 学習の目標と振り返り					
	《目 標》 ～何ができるようになりたいか具体的に～		《振り返り》 ～学習の振り返りと今後の課題～		
前 期			【達成できた・一部達成できた・達成できなかった】		
後 期			【達成できた・一部達成できた・達成できなかった】		
4 学習の内容					

学期	学習内容 (単元)	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
		a	b	c	d		
前期	序章 世界史へのまなざし	○				a. 人類の誕生、農耕牧畜の始まり、文明の成立過程を理解し深めようとしている。	a. 課題提出(10T, WC) b. 単元振り返り. c. 自己計画到達度 d. 小テスト
	第1章 文明の成立と古代文明の特質	○		○		a. 人類初の文明社会の建設の過程、王朝の興亡の流れを理解し深めようとしている。 b. メソポタミア文明・エジプト文明それぞれの文化の違い、また人類に与えた影響を理解している。 c. 地図でオリエント各地を理解している。	
	【単元テスト】	○			◎	a. 考査に対し計画的に学習できたか。 d. 自己評価に対する評価ができています。	a. 単元テスト d. 自己評価
	第4章 西アジアと地中海周辺の国家形成	○		○	◎	a. ギリシア・ローマの成立過程、社会の特質、文化を理解している。 b. インダス文明の特徴と古代インド王朝の変遷、仏教の成立発展を理解し深めようとしている。	
	第3章 南アジア世界と東南アジア世界の展開	○			◎	a. 考査に対し計画的に学習できたか。 d. 自己評価に対する評価ができています。	a. 定期考査 d. 自己評価
後期	第2章 中央ユーラシアと東アジア世界	○			◎	a. 古代中国で成立した文化が日本に及ぼした影響を理解している。 b. 魏晋南北朝の社会と文化、遊牧民族の活動について理解し深めようとしている。 c. 唐代の周辺諸国との交流について理解している。 d. 隋唐代の政治(律令体制)、社会の状況や文化について理解している。	a. 課題提出(10T, WC) b. 単元振り返り. c. 自己計画到達度 d. 小テスト
	【第2回定期考査】	○			◎	a. 考査に対し計画的に学習できたか。 d. 自己評価に対する評価ができています。	a. 定期考査 d. 自己評価
	第5章 イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成			○		a. ①イスラーム教の成立過程と教義について理解し深めようとしている。 ②ゲルマン民族移動後、中世封建制度が成立していく過程と制度の仕組み、当時の社会状況を理解し深めようとしている。	
	第6章 イスラーム教の伝播と西アジアの動向					b. ①アラブ帝国からイスラーム帝国への発展、分裂後のイスラーム世界の拡大について理解している。 ②キリスト教会の発展を理解している。	
	第7章 ヨーロッパ世界の変容と展開					c. ①イスラーム教の広がり地図上で把握している。 ②ゲルマン民族の移動を地図上で理解している。	
	【第3回定期考査】	○			◎	a. 考査に対し計画的に学習できたか。 d. 自己評価に対する評価ができています。	a. 定期考査 d. 自己評価
第8章 東アジア世界の展開とモンゴル帝国	○				a. 近代中国・イスラーム社会の法、制度の意義周辺諸国との関係を理解できる。 b. 文化の違いを捉えることができる。 d. 近代中国・イスラーム社会が周辺諸国に与えた影響、異民族支配方法を理解している。		